

国際ロータリー第2690地区
次期クラブR財団委員長研修会・
補助金管理セミナー

2021年12月12日 津山鶴山ホテル



2022-23年度地区補助金プロジェクト 実施に向けて

2022-23年度 補助金小委員会 委員長
津山ロータリークラブ 近堂申洋

2022-23年度地区補助金予算について

2022-23年度 地区補助金予算（概算）

プロジェクト名	申請時の予算	
	ドル	円
クラブ提唱プロジェクト・奨学金	120,000	13,680,000
補助金管理セミナー会場費等	8,500	969,000
奨学生オリエンテーション会場費等	800	91,200
補助金管理運営費	700	79,800
合 計	130,000	14,820,000

2021年12月Rレート \$1=114で計算

クラブ提唱プロジェクト

申請予定 34クラブ 未定 20クラブ

奨学生

10,000～20,000ドル/人 若干名

内 容

1. 補助金の参加資格
2. 2022-23年度 地区補助金プロジェクト申請の準備
3. ロータリー財団 地区補助金とグローバル補助金
授与と受諾の条件（2021年7月）
4. 地区補助金に関する地区申合せルールと
プロジェクトの適合資格
5. 地区補助金申請に必要な書類
6. 2022-23年度 地区補助金プロジェクト スケジュール
7. プロジェクト実施の際の注意点
8. 地区補助金報告に必要な書類

1. 補助金の参加資格

クラブの参加資格認定

【地区補助金】・・・地区の規定

第2690地区申請書式③クラブの覚書 2.クラブ役員の責務

C.クラブ会長エレクトまたはクラブが任命した代表者は、補助金管理と参加資格に関する地区主催の研修会に出席しなければならない

【グローバル補助金】・・・R財団の規定

- ・「クラブの覚書(MOU)」に同意する
- ・補助金管理セミナーに、クラブから少なくとも1名が出席する
- ・地区が独自に定めたその他の要件を満たす

グローバル補助金で地区財団活動資金（DDF）を使用する場合は、地区R財団事務所へご連絡ください

2. 2022-23年度地区補助金プロジェクト申請の準備

補助金受給条件の確認

- ☛ ロータリー財団 地区補助金とグローバル補助金
授与と受諾の条件（2021年7月）
- ☛ 2022-23年度 地区補助金に関する地区申合せルールと
プロジェクトの適合資格
- ☛ ③クラブの覚書（MOU）・・・地区とクラブの同意書

→3点は、申請前にご確認ください。

プロジェクト担当が他の委員会の場合、本日のセミナーの内容
の情報共有をお願いします。

3. ロータリー財団

地区補助金とグローバル補助金授与と受諾の条件(2021年7月)

注) 以下項番は原本の通り

I. 補助金の種類 (抜粋)

地区補助金は、**財団の使命**と一致する奨学金、旅行、プロジェクトに充てるために、地区に一括で支給される。

財団の使命

**ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、
貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成
できるようにすること**

II. 受領資格の指針（抜粋）

1. ロータリー財団の使命に関連していること。

2. ロータリアンが積極的に参加すること。

地区ルール：

**会員がいかに関与（会員が汗を流すこと等）しているかが、
明確に示せるようなプロジェクトとする。**

5. ロータリー財団の審査・承認がされた活動のみに使用。

7. 「プログラム参加者のための利害の対立に関する方針」を
順守すること。

・ ロータリアン、そのご家族は受益者となれません。

9. 補助金提唱者とロータリー財団の役割を明確に示す表記をプロジェクトの標識・表示に含めるか、その近接位置に表示すること。

寄贈プレート・横断幕・チラシ・パンフレット等に本プロジェクトは国際ロータリーのロータリー財団補助金により実施する旨を表示してください。

例) 2022-23年度ロータリー財団地区補助金事業
寄贈 ○○ロータリークラブ

10. 補助金の申請書と報告書には、ロータリー財団から要請され、かつ受益者(あるいは親または法的保護者)の同意が書面で提供されない限り、受益者の個人データ(氏名、年齢/生年月日、あるいは個人が特定されうるその他の情報)または受益者の写真を含むべきではない。

Ⅲ. 制約事項（抜粋）

1. 特定の受益者、団体、地域社会に対する継続的または過度の支援。
受益者が同じプロジェクトは申請できません。

4. 募金活動。

ポリオプラス基金等の募金活動は別途行ってください。

5. 地区大会、国際大会、研究会、創立記念式典、娯楽活動などの
ロータリー行事に関連する経費。

例会費用も対象となりません。

6. 広報的な取り組み(プロジェクト実施に不可欠な場合を除く)。

7. 1,000ドルを超える、プロジェクトの標識。

- ▣ 1,000ドル以下のプロジェクトを記念・説明する標識・看板等
▣ 標識自体が人道的/教育的な目的を果たすもの
(金額の制限はなし)
- × ▣ 実施中の模様を撮影したビデオ製作費・記念写真の費用
▣ プロジェクト全体の予算が1200ドルでそのうち標識が
1000ドルだった場合
- △ ▣ 終了したプロジェクトを紹介した内容
(クラブの宣伝と見なされる可能性あり)

8. 他団体の運営費、管理費、間接プログラム経費。

9. 受益者や協力団体への使途無指定の現金寄付。

10. 既に経費が発生した活動。

R財団承認後に実施されたプロジェクトのみが対象となります。

補助金プロジェクトの実施時期

2022年8月頃～2023年1月までの期間を推奨

※推奨期間について

開始：既に経費が発生した活動には充てられないため

終了：プロジェクト実施後2ヵ月以内の報告が必要なため

ロータリー財団への報告・承認の後に次年度地区補助金を送金される

4. 地区補助金に関する 地区申合わせルールとプロジェクトの適合資格

1. 申請プロジェクト内容について

- 1) 1クラブ1プロジェクト 複数クラブでの共同申請も可能

※クラブ独自の提唱プログラムとは別途申請可能。

- 2) 補助金額の下限は10万円、上限は50万円

自己資金は、補助金の半額以上(プロジェクト総額は15万円以上)

- 3) 地区内実施プロジェクトとする。

- 4) ロータリアンが積極的に参加すること。

また、会員が如何に関与(会員が汗を流すこと等)しているかが、
明確に示せるようなプロジェクトとする。

5)「ロータリー財団 地区補助金とグローバル補助金 授与と受諾の条件」
を順守すること。

附帯事項

②以下の費用は地区補助金申請時のプロジェクトの費用としては
認められない。

A. 飲食費、並びにコンクール等での賞品、プレゼント類に係る費用

B. プロジェクトに係る高額な広報・宣伝費

- ▢ プロジェクトに必要でプロジェクト内で使用した「物」の寄贈、食材
 - ▢ 地域の食材を使つての料理教室での食材
- ✕ ▢ ジュース/お弁当/食事代/トロフィー費用/景品
 - ▢ 参加者への粗品、寄贈のみのプロジェクト

6)「補助金参加者の利害の対立に関する方針」を順守すること。

- ・クラブ会員の業者との取引は透明性の説明をお願いします
- ・ロータリー関係者如何にかかわらず相見積を提出してください

9)プロジェクト実施の際、受益者の動画、写真の撮影、冊子・プログラム・チラシ等に受益者の個人データを記載する場合

- ・受益者に同意の意思、許可を書面で得て、記録
- ・16歳未満を対象とする場合は、親または法的保護者の同意

2. 申請ならびに報告について

- 3) 申請は、**当該実施年度の前年度の3月末**までに署名以外の必要事項を記載した関係書類を、地区の審査後、指定の期日までに覚書(MOU)を含む署名入りの正式な書類を、**いずれも電子メールで**地区R財団事務所へ提出しなければならない。
- 6) プロジェクトの報告書は、プロジェクト終了後1ヵ月以内に署名以外の必要事項を記載した報告書類を、電子メールで地区R財団事務所に提出し、地区のチェックを受けた後、**プロジェクトの終了後2ヵ月以内**に署名入りの報告書類を、**郵送**しなければならない。
- 8) 申請額の合計が、補助金予算額を上回った場合には、減額する場合がある

5. 地区補助金申請に必要な書類

申請書類

- ③ロータリー財団 クラブの覚書（MOU）
- ④ロータリー財団 地区補助金申請書
- ⑤プロジェクト予算書
- 見積書（相見積書含む）

R財団の審査は米国本部で行うため、申請書は平易な日本語で簡潔にご記入ください

申請手順

<2022年2月1日～3月31日厳守>

- ・ ④ロータリー財団 地区補助金申請書（未署名）
- ・ ⑤プロジェクト予算書
- ・ 見積書（相見積書を含む）

➡地区ロータリー財団事務所へメール送信

4月17日補助金小委員会審査
必要があれば修正

<2022年4月28日まで>

署名済み

③ロータリー財団 クラブの覚書（MOU）

④ロータリー財団 地区補助金申請書

➡地区ロータリー財団事務所へメール送信

不備のない書類を期日までにご提出いただくよう
お願いいたします！

申請書作成時の注意点

旅費、交通費について

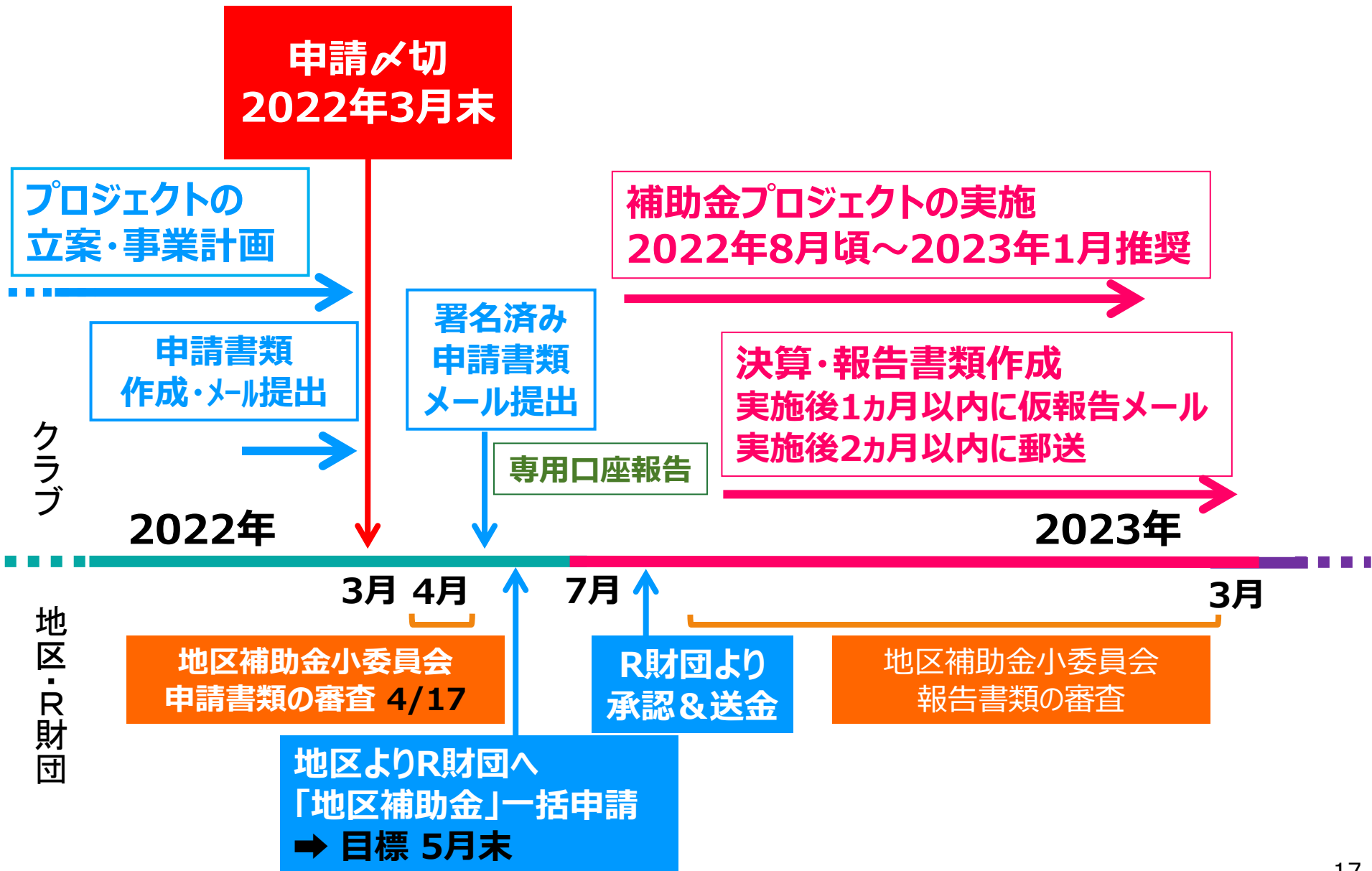
新型コロナウイルスの影響から、ロータリーの資金を利用した国内外の旅行は、**2021年12月31日**まで認められていません。12月31日以降は状況次第となります。

(旅費、交通費に補助金を利用しない場合は、実施可能)

→**旅費や交通費に地区補助金を使用するプロジェクトは、状況次第で変更が生じる場合があります。**

旅費や交通費は、地区補助金以外（クラブ負担）での予算立てを検討してください。

6. 2022-23年度 地区補助金スケジュール



7. プロジェクト実施の際の注意点

1. 創立記念にプロジェクトを計画する場合、寄贈プレートなどの表示に注意してください。

× 創立●●周年記念 ●●ロータリークラブ

○ 2022-23年度地区補助金プロジェクト ○○ロータリークラブ

2. 個人への報酬

要件を確認し、必要な場合は、源泉徴収を行ってください。

3. 保険の加入

万が一の事故に備えて、保険への加入をお願いします。

4. 会員名や事業所名の掲載

原則、ポスター・チラシ・パンフレットへのクラブ会員名や事業所の掲載はできません(例外:会員が講師や講演者となる場合)。

5. 経費の支払い

- ・資金引き出し日と経費の支払いは同日としてください。
- ・やむを得ず同日に支払いができない場合は、3日以内には支払いをしてください。

6. ロータリーのロゴの適切な使用

- ・「ボイス」とビジュアルアイデンティティガイド
- ・ロータリー財団の補助金プロジェクトの表示および「ロータリーの名称」またはロータリーの標章に関する指針

7. 受益者の個人データ、動画や写真の取り扱い

- ・受益者に同意の意思、許可を書面で得て、記録
- ・16歳未満を対象とする場合は、親または法的保護者の同意
- ・同意書の提出は不要

8. プロジェクト実施前に報告書に必要な書類を確認し、写真などで記録してください。

8. 地区補助金報告に必要な書類

地区補助金プロジェクト報告書

- ①地区補助金報告書提出届ならびにチェック表
- ⑧申請済みプロジェクトの変更届（変更が生じた場合のみ添付）
- ⑨ロータリー財団 地区補助金報告書
- ⑩財務報告書

すべての支出項目に関して領収書/請求書が必要

補助金での支出分は領収書原本を添付

※返金が発生した場合は、送金前に地区R財団事務所へ連絡

⑪補助金での購入品管理表

クラブで購入品を保管することはできない

補助金で購入したものの全ての写真が必要

作成した印刷物（チラシ・パンフレット）は現物を添付

⑫資金引出し承認署名簿〈専用口座入出金記録〉

専用口座には**補助金以外の資金を入れず**、処理をする

口座は無利息の決済口座での作成を推奨

利息が発生した場合は、プロジェクト資金として使用し、

実施後の残額は「0」とする

⑬写真資料

1		2	
3		4	
5		6	

活動の様子(要所 4 枚程度)、補助金での購入物品すべてを撮影し、できれば右のように Word や Excel 等に写真を貼り付けて番号を振ってください。

受益者が特定されないような写真（後ろ姿など）としてください。受益者が特定される場合は、黒塗り、目を隠すなどしてください。

⑭ 参考資料

提出が必要な資料

プロジェクトが掲載された新聞記事、ウェブサイトのコピー
広報誌など

記事内に、受益者の個人データや写真が含まれる場合は、
黒塗りの目隠しなどしてください

クラブで保管する資料

アンケートや感想文、後援や協賛の承認文書、感謝状、
参加者名簿、贈呈式等の次第、取材依頼書、受益者の同意書
など

⑮領収書および請求書

すべての支出項目に関して領収書/請求書が必要
補助金での支出分は領収書原本を添付

⑯地区補助金専用通帳の表紙およびすべての入出金内容の写し

報告書のファイリングに関する地区の指定

A-4 フラットファイル（色：ブルー） ※インデックスラベル貼付

参考

②【別紙】地区補助金報告書：A-4フラットファイルの表記法

4. 報告

- 1) クラブは、補助金プロジェクト終了後、1ヶ月以内に地区ロータリー財団事務所へメールで報告書類送信



補助金小委員会のチェック後

- 2) クラブは、補助金プロジェクト終了後、2ヶ月以内に署名済みの報告書を指定のファイリングをし、地区ロータリー財団事務所へ郵送で提出。

5. 報告書

- 1) 保存期間 → 7年間（ロータリー財団の監査）
- 2) 原本 → 実施クラブ保管
写本 → 地区ロータリー財団事務所保管
（常時閲覧可能 → 補助金資金の透明性確保）

ロータリー財団への報告・承認の後に次年度地区補助金が送金される。→報告書提出期限は厳守してください。

※ プロジェクト担当が他の委員会の場合も、ロータリー財団委員長が申請から報告まで責任を持って管理してください。

ご清聴
ありがとうございました

The
Rotary
Foundation

